

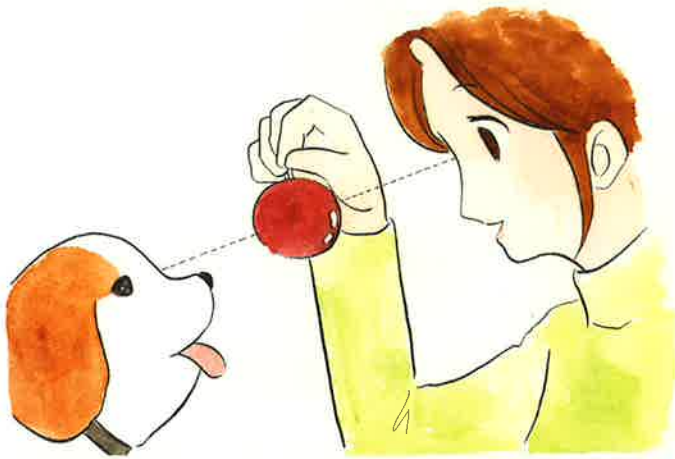
犬のしつけの基本（その1）

まずは、しつけやすい犬にしましょう。

- ポイント
- 1 人の手で自由に扱えるようにする。
 - 2 日頃から親しく言葉をかけ、人の気持ちを読みとれる犬にする。
 - 3 同じ言葉で根気よく。一度教えたらくずさない。

アイコンタクトを教える

アイコンタクト（目と目を合わせる）とは、しつけの第一歩で、犬がいつでも飼い主の目や手に注目するようにしておくことです。



犬と人の視線上に、おやつやおもちゃをもっていき、すぐ与えずにしばらくこれを見つめて待つように習慣づけることから始めるとよいでしょう。

「ヨシ」と「イケナイ」

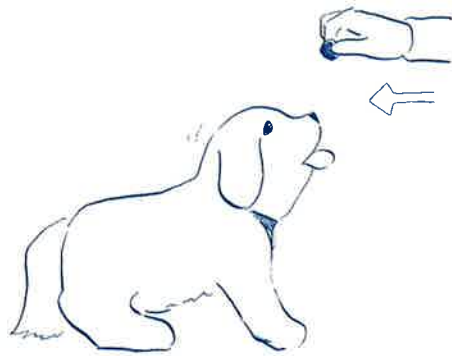
しつけの基本は、良い行動をほめ、悪いことは叱ること
すぐその場で行うことが大切です。

- 1 一貫性をもって
- 2 ほめるときはオーバーなくらいの喜びの表現で
- 3 叱るときでも、体罰は逆効果
(犬の信頼をそこないます)
- 4 賞は多く、罰は少なく



犬のしつけの基本（その2）

「オスワリ」

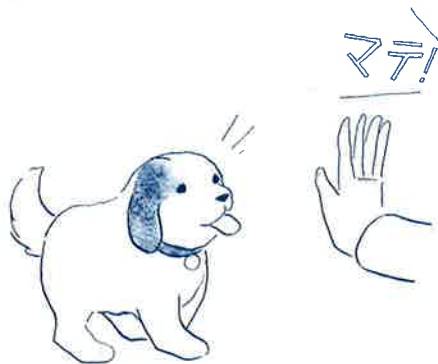


少量の食べ物などを犬の頭上にもっていき、見上げるようなポーズをとらせる。



オスワリと言いながら、食べ物をやや頭上の後方に持っていくと、犬は見上げるので、自然にオスワリの姿勢になる。できたらよくほめて、食べ物を与える。

「マテ」



マテと手で示し、近づこうとしたらマテといってもう一度制する。うまくマテたらよくほめる。これを繰り返し、マテの時間を少しずつ長くしていく。

「フセ」



フセと言いながら食べ物を犬の鼻先からま下の床に移動する。



こうすると、犬は食べ物に引かれて、鼻先を地面に近づける。続いて食べ物をやや前方に引くと、自然にフセの姿勢になる。できたらよくほめる。